修学旅行と木刀

2024年8月12日

6－２（３４）
宮園六花

なぜ修学旅行で木刀を買う？

越後屋さんに聞いた！

修学旅行の一番の思い出は、木刀を買ったことだ。洞爺湖の越後屋さんで、木刀を買うことができたことが嬉しくて、今もとても大切にしている。そこで、夏休みを使って、修学旅行でどのくらい木刀が人気なのか、どのような木刀が売れているのか、その現状を越後屋さんに電話して調べ、木刀について気になった点について調べてみたい。

「越後屋」さんの写真。写真と名前の掲載許可をいただいた。　越後屋さんのホームページ

越後屋の越後さんにご協力いただき、質問した内容についてまとめてみる。

①木刀は年間で何本くらい売れるか？
↓大体千本前後

②修学旅行生で何人に一人くらいが買うのか？
↓一クラスの四分の一くらい

③男女どちらのほうが多く買うか？
↓予想通り男子が多い

④何の木の素材か？
↓昔はかしの木で、今は、比較的柔らかい木

⑤使っている木は国産か外国産か？
↓両方で北海道産の木は、ならの木

⑥木刀の値段はどのくらいか？
↓五百～六千円くらいまで

⑦木刀の文字入れで何を入れる人が特に多いのか？
↓名前・苗字が多くて名前以外だと木刀のモデルの漫画「銀魂」の主人公の「銀時」やそれにちなんだ「糖分」を入れる人が多い

⑧どうやって木刀を作っているのか？
↓専門の会社に依頼、名入れは三十年以上前から彫師をしている経験豊富なベテラン彫師が彫っている

⑨外国人も木刀を買いに来るのか？
↓外国人にも人気があり、特に台湾人が多いが、欧米人も多く来る

⑩こだわりのポイント
↓真剣のような反りや、色の異なる木を塗るときの色合い

また、木刀に掘られている洞爺湖の文字は、刀の柄の部分、手に持った時に左に来るように工夫もされている。

自分が好きな文字を入れることで、世界にたった一つの自分だけの木刀が生まれ、それに対する愛着も一段とわいてくる。

世界で一つだけの木刀

私の木刀。消しゴムは、木刀とのサイズ感を比べるため。

木刀の歴史

木刀が初めて作られた時代は、はるか昔の奈良時代だと言われている。

また、木刀はその時代の代表文学作品である「古事記」や、「日本書紀」に敵をあざむく木製の横刀として登場している。

さらに江戸時代になると、刃のついていない安全な刀として剣術などの武道の稽古に使われるようになった。

初めて木刀が観光地で商品として販売されたのは、現在の福島県会津若松市の白虎隊で有名な飯盛山だ。

そこで販売された「白虎刀」は、観光客の絶大な人気を獲得し、最盛期には約八十万本も製造された。

白虎刀を販売した会社は、たくさん木刀が売れたのを見て、全国の修学旅行先で木刀を売り始めた。

このようなことから、木刀は奈良時代から現代までの長い年月を経て、様々な形で多くの人に親しまれてきたことが分かる。

参考資料「刀剣ワールド」、「Wikipedia」

剣士のイラスト。　イメージナビ

なぜ木刀を買うのか

修学旅行生がなぜ木刀を買うのかについて考えてみた。その理由は三つある。

一つ目は、木刀を買うことが伝統になっているからである。上の学年や、兄や姉が買うことで、「自分も六年生になって修学旅行に行ったら、木刀がほしいな」という羨ましい気持ちになる。

二つ目は、目立つからである。木刀は、とにかく大きく、見た目が目立つ。キーホルダーなどの小物と違って、お土産屋さんなどで持っているとすぐ分かる。誰かが持っていると、羨ましくなり、自分も買いたいという気持ちになる。

三つ目は、日本人らしさがあるからである。日本人は、昔から刀の文化があり、幼少期からチャンバラをして遊んだり、剣道などの影響だったり、刀を振りたいという気持ちがあると思う。

木刀は邪魔だとか、使わなくなるとかマイナス要素もあるが、とてもいい思い出になると思う。

世界へ羽ばたく？
～日本の特産として～

木刀は、修学旅行生だけでなく、外国人観光客にも人気があることが、越後屋さんへの取材でわかった。木刀は木製であり、日本文化の象徴である刀でもあるため、日本のお土産として人気がある。

また、海外では日本の刀をモチーフにした「ライトセーバー」を武器にする映画「スターウォーズ」ファンも多く、武士や侍に関連のある刀が人気であるため、木刀も魅力的なお土産であると言える。

現在、円安により外国人観光客が増えているため、木刀はお土産として、もっと外国人に人気が出る可能性がある。お土産品としてだけでなく、輸出の可能性もあり、日本の特産として、もっと世界へ羽ばたく可能性を期待したい。

ライトセーバー。　パブリックドメインQ

編集後記

買ったお土産を見ながら、修学旅行を振り返るのはとても楽しい。木刀を買うことが長年の夢だったため、買うことが出来て嬉しかったが、今回木刀について越後屋さんに聞いて、木刀がこだわりをもって作られていることが分かり、もっと木刀に愛着を持つことが出来たと思う。

これから先、修学旅行に行く小学六年生が、もっと木刀に魅力を感じて、今よりも日本文化に触れるきっかけとして木刀を選んでくれたらいいなと思う。

また、買った人が、修学旅行の思い出とともに木刀を大切に出来たらいいなと思うし、私もそうしたい。

全国で売れている木刀

木刀が売られているのは洞爺湖だけではなく、京都、浅草、日光、奈良など、全国各地の修学旅行先で売られている。比較的安い木刀も多く、修学旅行生への割引もあり、予算の限られている修学旅行生によく売れているようだ。しかし、木刀は凶器にもなりかねないため、購入を禁止している学校も一部あるようである。

とはいえ、修学旅行のお土産として、やはり木刀は全国でとても人気があり、定番であると言える。